

目的 第1報と同じ

方法 第1報と同じ

結果 幼稚園A、B間には、年度のはじめには、同年令の男、女間にはそれぞれ有意差は認められたが、2月の測定最終月には両幼稚園間の同年令男女間には、有意差は認められなかった。第1報、第2報の調査結果によれば、このように幼児の生活する集団が同じような環境であれば、その被服量、許体重比には著しい差が認められず、生活する集団の環境状況が異なれば、その被服量、許体重比には有意の差が認められたことは、幼児の身体的状態によるものか、あるいは幼児ととりまく環境に起因するのかは、今後の課題としてゆきたい。